

令和2年度第1回利根町地域自立支援協議会 議事録

日時：令和2年10月28日（水）15時～

場所：利根町役場会議室 5-A 出席委員13名

協議内容

1. 各部会の活動報告

- (1) 相談支援部会から
- (2) 防災部会から

2. 各委員より協議したい内容について

- ① 8050問題。親なき（同居者なき）後の支援について、市民の実態は。
⇒事務局より資料に基づき説明
- ② 障害者虐待防止法における緊急避難場所の確保について。（拠点事業とあわせて）
- ③ 統合失調症や強度行動障害などで問題行動が多い利用者様のご家族が、急に入院などの事態になった時、預かってもらえる施設が見つからない。
⇒事務局より併せて説明
(事務局) 緊急時の受入は、令和2年10月9日に利根町障害者居室確保事業が施行し、株式会社モデンナケアサービス障害者ケアセンター響と協定を結ぶことになった。株式会社モデンナケアサービス障害者ケアセンター響だけでなく、他市町村にもある事業所と協定等を結び、居室の確保に努めていきたいと考えている。
また、地域生活支援拠点の必要機能の1つである地域の体制づくりは自立支援協議会に設置したい。
(会長) 事務局案の通り、地域の体制づくりとして協議の場は、利根町地域自立支援協議会にしてもよいか。
(委員) 異議なし。
- ④ 災害時に障害者を受け入れてくれる福祉避難所の存在を知らない方もいる。その他に福祉施設などで受け入れ可能な施設があるのか知りたい。
- ⑤ 福祉避難所の利根町保健センターは、水害時には大丈夫なのか。(利根川の氾濫危険で避難指示は出ない地域に設置しているのか)
⇒事務局より説明
基本的に障害者の避難所は福祉避難所として、保健福祉センターに避難する。
介護施設事業所5つと避難所について協定を結び、何をしていくか詳細を詰めている

が、施設も余力がないし新型コロナウイルスの件もあるので、老々介護の方や高齢の一人暮らしの方など優先順位をつけて、施設が空いていれば誘導するように話を進めている。茨城県内には他に民間避難所と協定を結んでいるところもない。ケアマネージャー等と検討していきたい。また障害者に関しては、株式会社モデンナケアサービス障害者ケアセンター響と検討していきたい。

保健福祉センターの水害時の水没については、牛久市に協力を得られるよう総務課で協議をしている。

3. 前回の引き続きの協議内容

『精神障害者にも対応する地域包括ケアシステムの構築について』

(事務局) 前回の自立支援協議会で説明した、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築だが、市町村における協議の場を、前回は自立支援協議会にしたいと事務局案で提示した。

その中で、相談支援部会がいいのではないか？と意見があったので、本日、自立支援協議会でも、本会か、専門部会にするかを決めたい。

(委員) 移動手段の課題や、精神障害者の使える資源はどこの市町村も少ないので、皆さんのネットワークを使うためにも相談部会を活用するのがいいと思う。

(会長) 個別ケースでの内容等は相談支援員よりあがってくるので、相談部会で話し合い、本会議に報告し、サービスにつなげるように相談部会で担い、課題をすいあげることとする。

次回の協議内容

- (1) 各部会の活動報告
- (2) 利根町障害者プラン策定について